

# 学校DX戦略アドバイザープロフィール

にっ た だ し

新 田 正



所属・役職等

京都市教育委員会事務局学校指導課・参与

略歴

1984年～京都市で最初のコンピュータ機器を授業に導入「基礎学力を高めるための効果的な学習」について研究、ソフト開発、当時のCAIを推進。その後市教委情報教育センター指導主事（情報教育）を経て、京都市立小学校長、学校指導課統括首席指導主事、参与として教育の情報化の推進を担当、現在に至る。

## 学校DX戦略アドバイザーとしての対応可能分野

| 教育情報化<br>ビジョン<br>策定 | 推進体制<br>/組織 | 端末整備<br>(計画・仕様・<br>見積・調達)    | ネットワーク<br>(計画・仕様・<br>見積・調達) | セキュ<br>リティ | クラウド<br>活用・ID | オンライ<br>ン学習 | ツール・<br>コンテンツ |
|---------------------|-------------|------------------------------|-----------------------------|------------|---------------|-------------|---------------|
|                     | ○           |                              |                             |            |               |             |               |
| ICT活用               | 研修          | 人材<br>(サポー<br>ター・ICT<br>支援員) | 校務支援                        | 特別支<br>援教育 | 高校情報          | 生成AI        |               |
| ○                   |             |                              | ○                           |            |               |             |               |

## 対応可能学校種

| 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 義務教育学校 | 中等教育学校 | 特別支援学校 |
|-----|-----|------|--------|--------|--------|
| ○   |     |      |        |        |        |

## これまでの主な自治体・学校における教育情報化に関する支援・助言実績

2016年～現在 文科省ICT活用教育アドバイザー（学校DX戦略アドバイザー）として、教育の情報化に関する支援・助言。福岡県内市町村、和歌山県内市町村、東京都、滋賀県内市町村 他

校務支援システムの活用推進（指導要録・出席簿の電子保存、押印の廃止、標準化等）、2021～23年 文部科学省「先端技術の効果的な活用に関する実証事業」に従事。その他、担当者が少なく学校DX推進に困りを抱える小規模自治体への支援・助言